

データ作成時にご注意いただくこと【Adobe Illustrator 編】

Adobe Illustrator でデータを作成する際にお読みください。

テンプレートについて

クリアカード(横 63mm× 縦 88mm) 製品仕様：仕上がりサイズ：63×88mm

ClearCard_100x148_Kadomaru-ver.8ai

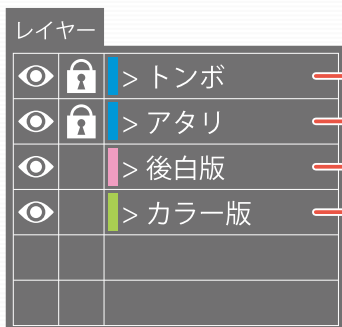
←CS2以前のバージョンをお持ちのお客様

ClearCard_100x148_Kadomaru-ver.CS3.ai

←CS3以降のバージョンをお持ちのお客様

データ作成時のチェックポイント

<レイヤーパレットについて>



トンボ・アタリレイヤー

印刷に必要なトンボと、仕上りの抜きの目安になるアタリのレイヤーです。
ここには書き込み等をおこなわないでください。
(誤作業防止のため、初期状態ではロックがかけられています)

後白版レイヤー

カラー版のデザインを透けない仕上がりになりたい場合、ここにKで白版データを作成してください。グラデーションやKの%を下げることで、半透明のデザインも可能です。
また、白で表現したいデザインもこのレイヤーに作成してください。
(カラー版に白でデータを作成されていても、後白版レイヤーに白版データが作成されていない場合、仕上がりは「透明」になります)

カラー版レイヤー

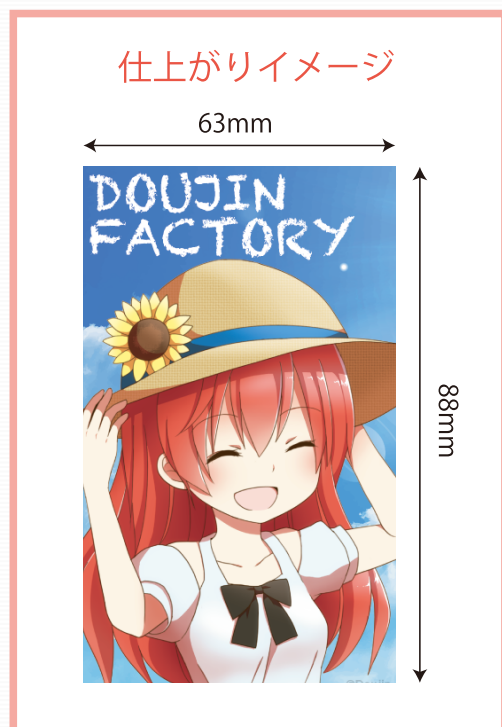
絵柄のデザインはこのレイヤーに行ってください。
このレイヤー内のものはすべて印刷されます。
アタリやメモ書き、透明擬似のグレー等をいれないでください。

<デザインと仕上がりアタリについて> 大まかなポイントは2つ！



塗り足し

仕上がり線ギリギリまで絵柄を入れたい場合、仕上がり線より3mm余分にデザインを作ってください。

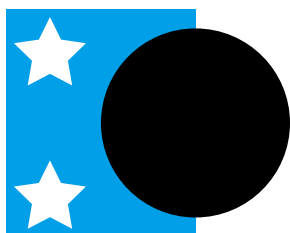


｜ オーバープリントについて

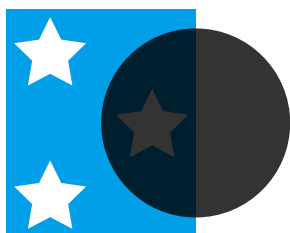
この商品は、黒色（K100%）のオブジェクトに、オーバープリント処理を行います。

オブジェクトが重なっている場合、黒色が透けて印刷されます。

オーバープリント処理を避けたい場合は、黒色（K100%）に別の色（シアン1%など）を加えてください。



デザインデータ



仕上がりイメージ

｜ データ入稿前のチェックポイント

- ・ カラーモードは、**CMYK**にしてください。
- ・ 全ての文字は、**アウトライン化**をしてください。
- ・ **パターン・効果・アピアランス**を使用する場合は、分割・拡張を必ず行ってください。
- ・ **4色ベタ（C100%/M100%/Y100%/K100%）**は、しないでください。
※意図的にリッチブラックを使用する場合は、C40%/M40%/Y40%/K100%を推奨します。
- ・ 画像は、**埋め込み・リンク**をしてください。リンクする場合、画像データも入稿してください。
- ・ 画像解像度は、原寸で**約300～350dpi**を推奨します。
- ・ 画像のカラーは、**CMYK**にしてください。
- ・ **テンプレートの情報（線・説明文・レイヤーなど）**は、移動・削除をしないでください。
- ・ **お使いのバージョン**で、保存してください。